

SIP 次世代海洋資源調査技術（海のジパング計画）第3回シンポジウム 開催報告

1. 日時

平成28年12月19日（月）13:30～17:30

2. 会場

大崎ブライトコアホール（東京都品川区北品川5-5-15 大崎ブライトコア3階）

3. 主催

内閣府/国立研究開発法人海洋研究開発機構

4. 開催概要

本シンポジウムはSIP次世代海洋資源調査技術（海のジパング計画）を一般へ紹介する目的で開催した。当日は、民間企業関係者を含む260名以上の方々に参加頂き、盛況であった。

はじめに昨年度評価を踏まえた研究開発計画の説明があり、第1部では、「統合海洋資源調査システム」について、システム概要から検証航海に至るまで一連の文脈に沿って説明が行われた。ポスターセッションを挟み第2部では、最新の研究開発成果トピックを紹介した。

アンケートでは、「(取り組みについて)昨年度から格段に進歩があったように感じた」「飛躍的に社会実現性を感じた」といった進捗に関する意見があった。

5. 当日の様子

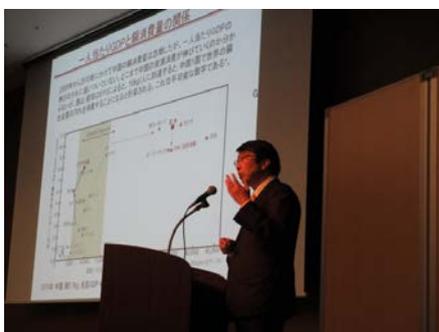


図1. 浦辺PDによる講演



図2. 質疑応答の様子



図3. シンポジウム会場内の様子



図4. ポスターセッションの様子

6. プログラム

13:30～13:35 開会挨拶

久間 和生（総合科学技術・イノベーション会議 有識者議員）

13:35～14:00 次世代海洋資源調査技術における取り組みと今後の展開

浦辺 徹郎（次世代海洋資源調査技術プログラムディレクター）

【第1部 統合海洋資源調査システムの確立に向けて】

14:00～14:15 海洋調査のイノベーション -統合海洋資源調査システムが目指すもの-

堀田 平（次世代海洋資源調査技術 サブプログラムディレクター）

14:15～14:55 海底熱水鉱床調査の基礎情報 -調査システム確立に向けた成因論からの提案-

石橋 純一郎（九州大学 理学研究院 地球惑星科学部門 准教授）
熊谷 英 憲（JAMSTEC次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム
成因研究ユニット 主任技術研究員）

14:55～15:45 平成28年度 統合海洋資源調査システム検証航海速報

久保田 隆二（海洋調査協会 理事・SIPプロジェクト推進室長）
河合 展夫（次世代海洋資源調査技術研究組合 理事長）

【休憩・ポスターセッション】 15:45～16:25

【第2部 成果トピックス】

16:25～16:45 電気の目で見える海底熱水鉱床 -AUVによる効率的な探査と民間利用への展開-

笠谷 貴史（JAMSTEC次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム
成因研究ユニット 主任技術研究員）

16:45～17:05 無人探査機(AUV)の複数同時運用による海洋調査の新たなパラダイム

田村 兼吉（海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所
研究統括監）

17:05～17:25 SIPで目指す海洋生態系変動予測手法とその国際標準化

吉田 公一（横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター
客員教授）

17:25～17:30 閉会挨拶

（閉会后、会場内ホワイエで情報交換会を実施）